

高浜発電所第1、2号機審査資料	
資料番号	3改3
提出年月日	2023年4月19日

設計及び工事計画認可申請【高浜発電所第1、2号機使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更】
コメント整理表

黄色ハッチング：審査会合コメント

No.	コメント日	コメント内容	対応（予定又は実績）	回答日	反映資料	回答状況
1	2月1日	「表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト」に変更がない場合の申請書への記載要否を検討すること。	表1に変更がない旨を申請書注釈にて明確化し補正申請予定	2月22日	資料2-1	回答済
2	2月1日	基本設計方針における臨界防止の設計条件の記載箇所を検討すること。	記載を検討し、補正申請予定	2月22日	資料2-1	回答済
3	2月1日	計測制御系統施設と兼用されている48体以外の制御棒について、使用前確認を受けているのかを確認すること。	1号については、基本設計方針に対する検査を実施済みであり、2号についても実施予定であることを回答済み	2月16日審査会合にて回答済	-	回答済
4	2月1日	添付資料2 未臨界説明書における各添付資料の要否を検討すること。	既工認の添付資料に合わせて取捨選択、補正申請し、その他の資料は補足説明資料とする予定	2月22日	資料2-1	回答済
5	2月1日	添付資料2 未臨界説明書に設置許可添付八記載の評価条件を記載することについて検討すること。	記載を検討し、補正申請予定	2月22日	資料2-1	No.13にて再回答
6	2月1日	実効増倍率の不確定性について、水位が低下した場合の影響の有無を資料を用いて説明すること。	No.19にて再回答	3月22日	資料2-2	No.18にて再回答
7	2月16日	冠水～水位1000mmまでの設計公差による不確定性を説明すること。	No.18にて再回答	3月22日	資料1改1、資料2-2	No.18にて再回答
8	2月16日	部分水位で臨界となる臨界実験の体系詳細と本評価に展開した際の見解を示すこと。	No.18にて再回答	3月22日	資料1改1、資料2-2	No.18にて再回答
9	2月16日	塩素を含む体系のベンチマーク結果の本評価における扱いについて説明すること。	No.21にて再回答	3月22日	資料1改1、資料2-2	No.21にて再回答
10	3月8日	・制御棒クラスターのうち計測制御系統施設と兼用されていないものが本申請によりどう扱われるか説明すること。	第5回ヒアリングにて回答予定 本申請により、兼用されていない制御棒クラスターもSA設備から除外されることを説明。	3月22日 4月13日	資料2-1改2	4月13日再回答

No.	コメント日	コメント内容	対応（予定又は実績）	回答日	反映資料	回答状況
11	3月8日	・基本設計方針における臨界防止の設計条件の記載のうち、26条に対する記載と69条 1 項に対する記載が異なる意図を説明すること。	第 3 回ヒアリングにて説明済	3月22日	資料2-1改1	回答済み
12	3月8日	・69条1項に対する臨界防止設計条件の記載箇所を適正化する場合は、使用される具体的な設備を記載する必要があるかを検討すること。	No.14にて再回答	3月22日	資料2-1改1	No.14にて再回答
13	3月8日	・添付資料 2 未臨界説明書への設置許可添付八記載の評価条件の反映箇所を再検討すること。	No.15にて再回答	3月22日	資料2-1改1	No.15にて再回答
14	3月31日	・資料2-1で示した小規模漏洩時の臨界評価条件の記載を修正すること。	資料2-2を修正し、第5回ヒアリングにて回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	
15	3月31日	・「臨界に達しないことに関する説明書」への設置許可記載の解析条件の反映方法を再検討すること	第5回ヒアリングにて回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	
16	3月31日	・「不確かさ」、「不確定性」の定義を記載するとともに、結論中で不確かさ等の影響についても言及すること	第5回ヒアリングにて一部回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	
17	4月4日	・未臨界性の評価、判定の方法について、説明書本文への追記を検討すること。	塩素を含まない体系の評価結果に基づき追記予定。	未回答		未回答
18	4月4日	・資料2-2について、不確定性と使用済燃料ピット水位の関係性の説明を拡充すること。	塩素を含まない体系の評価結果に基づき追記予定。	未回答		未回答
19	4月4日	・不確定性／不確かさの用語の使い分けを資料に反映すること。	第5回ヒアリングにて回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	
20	4月4日	・ベンチマークの扱いを①解析コードの適用の妥当性②不確定性に分けて再度説明すること。	資料2-2を修正し、第5回ヒアリングにて回答予定	4月19日	資料2-2 改 1	
21	4月4日	・塩素の不確定性をどのように扱うのかについて再度整理して説明すること。	評価体系より、塩素を抜いたうえで再評価を実施する。	4月19日	資料2-3	
		(以下余白)				